

▲▽▲▽大阪湾海上交通センター▲▽▲▽②

大阪湾海上交通センターは、兵庫県淡路島の明石海峡を望む江崎に、1993年7月に設置された。明石海峡に明石海峡大橋が架かっており、海上交通センターの下方には、海岸に接するようにして江崎灯台がある

■ 情報提供と位置情報

レーダーなどにより明石海峡航路と周辺海域を通航する船舶の動静を監視し、VHF無線電話などで他の船舶に対し、この動静を伝えている。このため、センターに位置通報をしなければならないことになっている。

- ❖長さ 200m 以上
- ❖危険物積載船(25000 総トン以上の液化ガス積載船)
- ❖危険物積載船(火薬類を積載する 300 総トン以上の船舶)と
- ❖長さが 100m 以上の物件曳(押)航船など

さらに、明石海峡とその周辺海域には巡視船艇が常時配備されており、管轄当局と巡視船艇は常時連絡を取り、交通の安全を確保している。

■ 淡路島

神戸から明石・舞子を経由し、明石海峡大橋を渡ると淡路島。淡路島には豊かな緑と美しい海岸線がある。南東端は友ヶ島水道(紀淡海峡)を経て和歌山の加太へ至る。南端では鳴門海峡を経て四国(徳島県)の鳴門へ至る。鳴門海峡は地形の関係から潮の流れが速く春先には渦潮も発生し、観光名所となっている。

この島は「古事記・日本書紀」には日本で最初に出来た島であると記されている。天に立ったイザナギ・イザナミの二神の剣の先から落ちた水滴で出来上がった島だというのである。古代では塩の産地として、また天皇への食料を貢進する御食国として知られた。現在でもこの島では農業が盛んで、特にタマネギは日本一おいしいといわれている。

「海員だより」